

バイナリデータから数値の取り出条件を設定します。

バイナリ・パケットデータの「パケット選択フィルタ」と、抽出する数値の位置とタイプを指定します。

例えば、以下のようなバイナリデータの場合、下図に示すように設定します。

バイナリデータ

Loc=0	1	2	3	4	5	6	7	8		12 (0xC)	16 (0x10)	
0x01	—	—	—	—	—	—	—	—	x0 (INT-32)	y0 (INT-32)	—	
20 (0x14)				24 (0x18)		28 (0x1C)		32 (0x20)		36 (0x24)		40 (0x28)
x1 (INT-32)				y1 (INT-32)		—		x2 (INT-32)		y2 (INT-32)		—

ダイアログの設定

ロケーション 0 が、0x01 (8 ビット整数)であるバイナリ・パケットデータを対象とします

「リセット」ボタンを押すと、全ての数値選択設定がクリアされます。

3つの2Dベクトルを指定

「演算式」は、抽出した数値をNとして、グラフ表示の値を算出します
「係数」はグラフ表示時、抽出した全ての数値に乗算する値です

数値がビッグエンディアン形式である場合にチェックします。

有効な数値が設定されている場合のインジケータです。この円の色は、グラフィック上での描画色となります。

設定が完了したら「OK」ボタンで上書きするか、「保存」ボタンで名前を付けて保存を行ってください。

上記の設定例では、受信したバイナリ・パケット・データ行から3つベクトル値が抽出されて、以下のような2Dプロット・グラフが表示されます。

